



機械工学科 北川 浩史准教授の出前授業の様子が 掲載されました

2025年9月10日(水) 日刊自動車新聞



駐車場内でクラシックカーの
同乗体験を行った

クラシックカー同乗も 釧路整振が釧路工業高で出前授業

【釧路】釧路地方自動車整備振興会(坂根篤会長)は、整備士の年生39人を対象に、整備士の仕事や自動車の魅力をアピールする出前授業を実施した。北海道科学大学と釧路トヨタが協力し、クラシックカーの同乗体験を行った。

自動車整備業界の人材確保対策の一環として実施した。釧路工業高校の電子機械科2年生向けの出前授業は今年で4回目。教材車両として、北海道科学大学は1926年式T型フォードを、釧路トヨタは1961年式の初代クラウンを持ち込んだ。

座学では最初に釧路整振の職員が自動車整備士の仕事の魅力や資格取得の方法を紹介した。その後、釧路トヨタの岩井健サービス担当係長が、初代クラウンのレストア作業を、当時の写真を使いながら紹介した。北海道科学大工学部機械工学科の北川浩史准教授は、自動車技術の歴史を振り返りながら、同校がレストアしたT型フォードを紹介し

自動車整備業界の人材確保対策の一環として実施した。

釧路整振は、2019年から同校の1年生向けにも出前授業を実施しており、地元デ

ィーラーの協力のもと、新型車両を展示して、自動車の魅力をアピールしている。

場で開催。駐車場内を1周ずつ全員が試乗した。普段は目

にしない珍しい車に乗り込み、音やにおいなどを体感しつつ、写真や動画を撮って樂

しんでいた。

同乗体験会は、同校の駐車

